

別記様式第2号(第9条関係)

設計内容説明書

●共同住宅等非木造住宅用
その1、住棟審査用

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者	資 格 (級) 建築士 () 登録第 号
	建築士事務所 名 称 (級) 建築士事務所 () 知事登録第 号
	氏 名
建築基準関係規定への適合の確認	☐ 確認済 (建築確認が必要な建築工事の場合は、記入不要)
審査員氏名※	

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
1.劣化対策等級 (構造躯体等)	セメント	セメントの種類	☐ ポルトランドセメント (JIS R 5210) (☐ 中庸熱 ☐ 低熱 ☐ その他) ☐ フライアッシュセメント (JIS R 5213) ☐ 高炉セメント (JIS R 5211)	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	コンクリートの水セメント比	最小かぶり厚さ	・土に接しない部分 耐力壁以外の壁 床屋内 (mm) 屋外 (mm) 耐力壁、柱、はり 床屋内 (mm) 屋外 (mm) ・土に接する部分 壁、柱、はり 床、基礎の立ち上がり部分 (mm) ・基礎 (立ち上がり部分を除く) ・外壁仕上げ[☐ タイル貼 ☐ モルタル塗 ☐ 外断熱工法 ☐ その他 ()]	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		水セメント比	・コンクリートの種類 (☐ 普通コンクリート ☐ 軽量コンクリート) ・水セメント比 (%)		
	部材の設計・配筋	設計かぶり厚さ	・施工誤差 (mm)	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	コンクリートの品質等	スランプ	(cm)	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		単位水量	(kg/m3)		
	施工計画	空気量	(%)	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		コンクリートの充填方法等	・打込・締め固め方法 () ・打継ぎ部の処理方法 () ・養生方法 ()		
2.耐震性 (耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)等級2とする場合の例)	構造躯体	コンクリート及び配筋	・コンクリートの種類 () ・コンクリートの強度 () ・主筋の種類・径 () ・部材の寸法、種類 ・部材相互の接合方法	☐ 計算書 ☐ 仕様書 ☐ 構造伏図 ☐ 矩計図	☐ 適 ☐ 不適
		免震建築物	☐ 免震建築物 ☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号に規定されるもの ・同告示第2の該当する号 ☐ 一 (四号建築物) ☐ 二 (建築基準法20条第二号に掲げる建築物) ☐ 三 (時刻歴応答解析を行い大臣認定取得) ・免震層・免震材料の維持管理に関する計画 [☐ 有 ☐ 無] ・敷地の管理に関する計画 [☐ 有 ☐ 無] ☐ その他 ()	☐ 計算書 ☐ 仕様書 ☐ 構造伏図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適

(注) 作成者の方は※欄は、記入しないでください。

別記様式第2号(第9条関係)

確認事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
4. 維持管理・更新の容易性 ①維持管理対策等級(共用配管) (等級3とする場合の例)	共用配管	コンクリート内埋込み配管	・排水管[☐ 無 ☐ 有] ・給水管[☐ 無 ☐ 有] ・給湯管[☐ 無 ☐ 有]	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管[☐ 無 ☐ 有] ・給水管[☐ 無 ☐ 有] ・給湯管[☐ 無 ☐ 有] ☐ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	共用排水管	排水管の清掃措置、掃除口の点検措置	・共用立管 管の種類 掃除口の位置 点検措置 () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) ・横主管 管の種類 掃除口の位置、間隔 点検措置 () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口)	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	排水管の性状等(継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	☐ 平滑である(仕様等) ☐ その他 ()	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		設置状態	☐ たわみ抜け等が生じないように設置措置 () ☐ その他 ()		
	配管点検口	排水管と専用排水管の接合部	・接合部の位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口)	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		給水管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口) ・バルブの位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口)		
		給湯管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口) ・バルブの位置 () 点検措置 (☐ 露出 ☐ 開口)		
	横主管のピット内等の措置	排水管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置 (☐ 人通孔設置 ☐ その他) ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている	☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		給水管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置 (☐ 人通孔設置 ☐ その他)		
		給湯管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置 (☐ 人通孔設置 ☐ その他)		
	配管補修の措置	排水管	☐ 露出 (☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー) ☐ P S 内 (☐ 共用部に面して補修用開口有)	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		給水管	☐ 露出 (☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー) ☐ P S 内 (☐ 共用部に面して補修用開口有)		
		給湯管	☐ 露出 (☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー) ☐ P S 内 (☐ 共用部に面して補修用開口有)		

別記様式第2号(第9条関係)

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
4. 維持管理・更新の容易性 ②更新対策(共用排水管) (等級3とする場合の例)	共用排水管	コンクリート内の埋め込み配管	・ 共用排水管[☐ 無 ☐ 有]	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		地中埋設管上のコンクリート打設	・ 共用排水管[☐ 無 ☐ 有] ☐ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		パイプスペース及びピット等	・ 横主管の設置位置 ☐ ピット ☐ 1階床下空間 ☐ ビロティ ☐ その他の共用部分 (		

別記様式第2号(第9条関係)

その2. 住戸審査用

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者	資 格 () 級) 建築士 () 登録第 号
	() 級) 建築士事務所 () 知事登録第 号
	建築士事務所 名 称 所在地 氏 名
建築基準関係規定への適合の確認	☐ 確認済 (建築確認が必要な建築工事の場合は、記入不要)
審査員氏名※	

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
3. 可変性	躯体天井高さ	躯体天井高さ	・躯体天井高 (mm以上)	☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
4. 維持管理・更新の容易性	専用配管	コンクリート内埋込み配管	・排水管 (☐ 無 ☐ 有) ・給水管 (☐ 無 ☐ 有) ・給湯管 (☐ 無 ☐ 有)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管 (☐ 無 ☐ 有) ・給水管 (☐ 無 ☐ 有) ・給湯管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	専用排水管	排水管の清掃措置	・便所 [☐ 共用縦管に隣接 ☐ 掃除口 (☐ 露出又は開口有)] ・その他の水まわり [☐ トラップ ☐ 掃除口 (☐ 露出又は開口有)]	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	☐ 平滑である (仕様等) ☐ その他 ()	☐ 仕上表 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		設置状態	☐ たわみ抜け等が生じないように設置措置 () ☐ その他 ()		
	配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ())]	☐ 平面図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
			・給水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ())]		
			・給水管のバルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ())]		
			・給湯管のバルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ())]		

別記様式第2号(第9条関係)

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
5. 高齢者等配慮対策等級(共用部分)	共用廊下	共用廊下の幅員	有効幅員 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 矩計図	☐ 適 ☐ 不適
		外部開放廊下の転落防止用手すり	・転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網		
	共用階段	勾配等	・けあげ (mm) ・踏面 (mm) ・勾配 (/)	☐ 平面図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		蹴込み	・蹴込み寸法 (mm) ・蹴込み板 (☐ 無 ☐ 有)		
		形式等	・階段の形式 (☐ 踊り場付き折れ階段 ☐ 直階段 ☐ その他) ・最上段の通路等への食い込み (☐ 無 ☐ 有) ・最下段の通路等への突出 (☐ 無 ☐ 有)		
		滑り防止	・滑り止め (☐ 無 ☐ 有、踏面と同一面)		
		段鼻	・段鼻の出 (☐ 無 ☐ 有)		
		転落防止用手すり (外部開放階段)	・転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網		
		共用階段の幅員	・有効幅員 (mm)		
		手すり	☐ 有 ☐ 無		
	エレベーター	エレベーターの利用	・住戸位置 (☐ 建物出入口に存する階 ☐ 左記以外) ・エレベーター設置 (☐ 無 ☐ 有)	☐ 仕様書 ☐ 平面図	☐ 適 ☐ 不適
		エレベーターの仕様	・出入口の有効幅員 (mm) ・かごの奥行き寸法 (mm)	☐	
		エレベーターホールの広さ	・エレベーターホールの寸法 (mm×mm)		
6. 省エネルギー対策 (等級4とする場合の例)	躯体の断熱性能等	断熱構造とする部分と性能	・各部熱貫流率若しくは断熱材の熱抵抗、又は断熱材の種類と厚さ ----- 屋根 () 天井 () ----- 壁 () ----- 床 外気に接する部分 () その他の部分 () ----- 土間床等の外周部 外気に接する部分 () その他の部分 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性	建具・ドア枠の材質・形状、 建具形態 ガラスの種類・構成等 () () () () () () () () () ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適

別記様式第2号(第9条関係)

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
		窓・ドア等の日射侵入対策	方位 ガラスの日射侵入率等 () () () () () () () () () ()	庇・軒・付属部材等	
	結露防止対策	結露の発生防止対策	・ 結露の発生の防止対策 防湿層の設置（繊維系断熱材の場合） () ☐ 内断熱工法 ☐ 断熱材をコンクリート躯体に前面密着等	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	熱橋部対策	熱橋部の断熱補強対策	・ 貫通部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗、又は断熱材の種類と厚さ () 補強範囲 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
7.住宅の規模	住宅の面積	住宅の面積	・ 住宅の専用面積 () m ² 以上 ・ 40m ² 以上ある階 () 階 () m ² 以上 うち階段部分の面積 () m ²	☐ 求積図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
8.維持保全の方法			・ 期間 () 年以上 ☐ その他の基準への適合	☐ 申請書 ☐ 維持保全計画書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
9.資金計画			☐ 建築に要する費用の設定 ☐ 維持保全に要する費用の設定	☐ 申請書	☐ 適 ☐ 不適